

今日の一問 (やまだ塾)

(2008年6月13日掲載)

No.39	「車いす」介助の一般的な注意について述べよ。
解答	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前には必ずストッパーやタイヤの空気の点検しておく。 ・原則として、動作ごとに声かけをし、押す速さについても了解を得る。麻痺者が使用する車いすは、後輪の小さい、介助用のものに限定せずに、利用者の状況に合わせて選択する必要がある。 ・車いすで段差を上がるときは、一般的には、前向きでティップingleレバーを踏んでキャスターを上げ、段に乗せてから後輪を押し上げる。逆に段や坂を下りるときは車いすを後ろ向きにすることで乗っている人に不安を与えず、安全を確保できる。 ・片麻痺者のベッドから車いすへの移乗では、健側から 20～30° の角度で止め、ブレーキをかけ、フットレストを上げて、浅い端座位から車いすに移乗させる。 ・車いすで外出するときは暑さ・寒さに合わせて帽子や飲み物、掛け物を用意し、特に門や路地を出るときは必ず止まって安全を確認する。さらに、車いすでの外出において、①エスカレーターの利用では、ブレーキはかけずに上りは前向きで下りは後ろ向きで介助し、②電車の乗降では、乗車は前向き、降車は後ろ向きで介助し、③自動車への乗降では、車いすを自動車のドアに対して 30° 程度の角度で止め、ブレーキをかけ、フットレストを上げて自動車の座席に移乗させ、④砂利道等の不整地では、ティップingleレバーを踏んでキャスターを上げ、そのまま後輪で前進する。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.